

施策の成果及び執行実績

1 教育委員会の開催

開催回数 定例会教育委員会 12回、臨時教育委員会 3回

審議内容

会議録に関する事	15件
人事に関する事	4件
財政に関する事	6件
委嘱に関する事	31件
条例に関する事	31件
その他	44件

【点検及び評価】

教育行政が停滞しないよう必要に応じ、臨時教育委員会を開催し、各案件の審議にあたった。また、定例会、臨時会以外にも教育委員会に関連する行事等への参加や保護者とのパイプ役となり、教育行政のスムーズな執行に寄与した。

2 奨学金貸与事業

〔貸与〕	高校生	新規	7人	1,680,000円
		継続	5人	1,200,000円
	大学生	新規	4人	1,440,000円
		継続	11人	3,960,000円
貸与合計			27人	8,280,000円

平成24年度から基金運用にて事業実施

【点検及び評価】

経済的理由により修学困難な者に対し奨学基金から奨学金を貸与し、修学の機会を広げ、将来社会に有用な人材を育成するための事業として実施した。このことは子育て支援策のひとつと捉えている。選考については、奨学生選考委員会で審査し貸与を行い、公平性を確保している。今後も、奨学金の制度を存続させるために、返還が滞っている者に対する納付について分割納付の相談を受けたり督促を強化するなどの対策を講じていく。

3 通学専用バス運行費助成事業 1,655,520 円

【点検及び評価】

伊勢方面に通学する浜島・志摩・大王・阿児町在住と志摩高校へ通学する志摩・大王町在住の高校生を対象に専用バスの運行を確保することで、利便性の向上と非行防止及び保護者の経済的負担の軽減を図った。また水産高校へ通学する生徒の利便を図るため、新たにバス停留所を設置するための助成を行った。

4 スクールバス購入事業 24,786,931 円

【点検及び評価】

志摩市小学校再編基本計画に基づいて再編をした学校で公共交通機関での通学が不可能な生徒に対し、安心安全な通学を確保するためスクールバスを購入した。

施策の成果及び執行実績

5 小学校総務管理費

(1) 小学校総務一般経費 3,816,857 円

小学校の安全な運営に必要な経費を支出した。

主な支出項目は以下のとおり

備品修繕料	1,248,233円
聴力計検査手数料	167,616円
ピアノ調律手数料	415,600円
駐車場借上料	267,480円
学校用地借上料	1,550,210円

【点検及び評価】

学校の運営また学校教育活動のために必要な経費を支出することによって、スムーズな学校運営・学校教育活動を支援した。

6 小学校施設管理費

(1) 小学校管理運営費 52,380,817 円

志摩市内の小学校施設における日常的な修繕や法令に基づく定期検査等の施設維持管理経費を支出した。

主な事業費は以下のとおり

施設修繕料（市内各小学校の修繕）	10,706,444円
浄化槽清掃料	3,461,940円
浄化槽保守管理委託料	4,842,720円
消防設備保守点検等委託料	1,809,907円
校舎保安業務委託料	4,269,767円
環境整備業務委託料	3,527,136円

【点検及び評価】

学校の適正な管理運営のために必要となる経費である。施設の修繕については、突発的な不具合等が発生しているが、迅速に対応し、子どもたちが安全、安心な学校生活を送れるようにするために大切な費用である。

7 小学校再編準備経費 4,844,200 円

志摩市小学校再編基本計画に基づき成基小学校が閉校し磯部小学校と再編を行った。また的矢小学校も閉校し鵜方小学校と再編したため、再編にかかる経費を支出した。

主な事業費は以下のとおり

再編記念ソング制作委託料	1,304,424円
備品購入費	548,640円
旧学校閉校事業補助金	2,914,660円

8 小学校教育総務振興費

(1) 小学校備品購入事業 6,746,081 円

児童の教育活動を充実させるため、机・椅子などの備品やその他図書等を購入し、健全で有効な学校運営を図るための事業を行った。

主な事業費は以下のとおり

備品購入費	4,181,581円
図書購入費	2,064,500円
鵜方小学校図書購入費（基金分）	500,000円

【点検及び評価】

限られた予算の中で、学校の要望を聴取しながら、十分とはいかないものの学校備品や図書等の充実を支援した。今後も引き続き対応し、さらなる充実に努めたい。

施策の成果及び執行実績

9 小学校耐震化・大規模改造事業費

(1) 磯部小学校校舎大規模改造事業 16,231,735 円

昭和41～43年建築RC造3階建て3,780㎡の老朽化の激しい磯部小学校校舎の大規模改造を行うことにより教育環境の改善を図り、学校再編に伴う通学バス及び児童・生徒の送迎車両乗入れ場及び待避所の整備により、児童・生徒の通学における安全の確保を図るため校舎大規模改造工事実施設計と駐車場整備工事を実施した。主な事業費は以下のとおり

磯部小学校駐車場整備工事費	13,395,240円
受注者：志幸建設	
校舎大規模改造工事実施設計業務委託料	2,207,520円
受注者：ムラセ建築デザイン	

(2) 布施田小学校屋内運動場耐震化事業 63,787,480 円

昭和55年建築R S造平屋建て老朽化の激しい布施田小学校屋内運動場の教育環境を改善するため大規模改造、耐震補強工事を実施した。

主な事業費は以下のとおり

屋内運動場耐震補強等改修工事費	62,642,160円
受注者：株式会社山下組	
屋内運動場耐震補強等改修工事費施工監理業務委託料	810,000円
受注者：西沢建築設計事務所	

(3) 和具小学校校舎大規模改造事業 73,522,320 円

昭和39年建築、RC造2階建て991㎡及び昭和56年建築3階建て3,152㎡の老朽化の激しい和具小学校校舎での教育環境を改善するため、大規模改造、耐震補強工事を2か年で計画し(平成26年度は南管理教室等を1期工事)平成27年度は教室棟をⅡ期工事として実施した。

主な事業費は以下のとおり

校舎大規模改造工事費	72,552,240円
受注者：株式会社坂下工務店	
校舎大規模改造工事施工監理業務委託料	691,200円
受注者：林州啓建築設計事務所	

(4) 阿児町東部地区小学校建設事業 134,470,282 円

志摩市小中学校再編基本計画をもとに、低地にある施設を高台へ移設し新しい統合小学校を開設することにより、児童の学校における安全の確保と円滑な教育活動の実施を図るため、整備に係る実施設計、造成工事等、下記の事業を実施した。

建築・造成設計業務委託料 (債務負担費)

受注者：株式会社 久米設計 名古屋支社	
契約金額：98,280,000円	平成27年度支払額 53,838,000円

阿児町東部地区小学校造成工事 (継続費)

受注者：山本・畑中・大西特定建設工事共同企業体	
契約金額：345,232,800円	平成27年度支払額 74,520,000円

(繰越明許分)

学校用地購入費

土地の表示：志摩市阿児町甲賀1521番他2筆	
取得契約額：8,904,000円	

施策の成果及び執行実績

【点検及び評価】

上記事業を実施することで、児童が安全な学校生活が送れるよう努め、また、学校再編の推進により再編後も使用する学校に対しては大規模改修を施し安全性を高めるとともに、施設の延命化を図った。平成30年4月に新設予定の阿児町東部地区小学校については、保護者や自治会代表者そして小学生の意見等も取り入れ、児童が快適に学校生活を送ることができる施設にすべく努めている。

10 中学校総務管理費

(1) 中学校総務一般経費 1,273,006 円

中学校の安全な運営に必要な経費を支出した。

主な支出項目は以下のとおり

備品修繕料	450,788円
聴力計検査手数料	81,216円
ピアノ調律手数料	207,360円
駐車場借上料	222,000円
敷地借上料	123,000円

【点検及び評価】

学校運営また学校教育活動のために必要な経費を支出することによって、スムーズな学校運営を支援した。

11 中学校施設管理費

(1) 中学校管理運営費 19,292,616 円

志摩市内の中学校施設における日常的な修繕や法令に基づく定期検査等の施設維持管理経費を支出した。

主な事業費は以下のとおり

施設修繕料（市内各中学校の修繕）	6,562,214円
浄化槽清掃料	2,548,260円
浄化槽保守管理委託料	1,076,760円
消防設備保守点検等委託料	1,078,275円
エレベーター保守点検委託料	1,616,760円
校舎保安業務委託料	1,805,858円
環境整備業務委託料	840,925円

【点検及び評価】

学校の適正な管理運営のために必要となる経費である。施設の修繕については、突発的な不具合等が発生しているが、迅速に対応し、子どもたちが安全、安心な学校生活を送れるようにするため大切な費用である。

施策の成果及び執行実績

12 中学校教育総務振興費

(1) 中学校備品購入事業 4,112,975 円

生徒の教育活動を充実させるため、机・椅子などの備品やその他図書等を購入し、健全で有効な学校運営を図るための事業を行った。

主な事業費は以下のとおり

備品購入費	2,994,678円
図書購入費	1,118,297円

【点検及び評価】

限られた予算の中で、学校の要望を聴取しながら、十分とはいかないものの学校備品や図書等の充実を支援した。今後も引き続き対応し、さらなる充実に努めたい。

13 中学校耐震化・大規模改造事業費

(1) 文岡中学校校舎改修事業 116,915,360 円

昭和56年建築の老朽化の激しいRC造3階建て5,438㎡の文岡中学校校舎の教育環境を改善するため、大規模改造工事を2か年で計画し平成27年度は南校舎等を2期工事として実施した。

校舎大規模改造工事費	115,202,520円
受注者：株式会社 山下組	
校舎大規模改造工事施工監理業務委託料	1,155,600円
受注者：堀尾建築設計事務所	

【点検及び評価】

上記事業の実施により、生徒の安全な学校生活が送れるよう努力した。また、学校再編の推進により再編後も使用する学校に対しては大規模改修を施し、安全性を高めるとともに、施設の延命化を図った。今後も残る中学校について計画的に実施していく必要がある。

14 幼稚園総務管理費

(1) 幼稚園総務一般経費 602,650 円

幼稚園の安全な運営に必要な経費を支出した。

主な支出項目は以下のとおり

聴力計検査手数料	24,192円
ピアノ調律手数料	63,720円
駐車場借上料	360,000円

【点検及び評価】

幼稚園運営のために必要な経費を支出することによって、スムーズな幼稚園運営を支援した。

施策の成果及び執行実績

15 幼稚園施設管理費

(1) 幼稚園管理運営費 3,687,409 円

志摩市内の幼稚園施設における日常的な修繕や法令に基づく定期検査等の施設維持管理経費を支出した。

主な事業費は以下のとおり

施設修繕料（市内各幼稚園の修繕）	1,074,703円
浄化槽清掃料	747,792円
浄化槽保守管理委託料	721,440円
消防設備保守点検等委託料	114,218円
園舎保安業務委託料	541,080円
体育用具等保守点検委託料	182,057円
環境整備業務委託料	94,429円

【点検及び評価】

幼稚園の適正な管理運営のために必要となる経費である。施設の修繕については、突発的な不具合等が発生しているが、迅速に対応し、子どもたちが安全、安心な学校生活を送れるようにするため大切な費用である。

16 幼稚園教育総務振興費

(1) 幼稚園備品購入事業 581,054 円

園児の保育活動を充実させるため保育備品やその他図書等を購入し、健全で有効な幼稚園運営を図るための事業を行った。

主な事業費は以下のとおり

備品購入費	1,045,440円
図書購入費	415,793円

【点検及び評価】

限られた予算の中で、幼稚園の要望を聴取しながら、十分とはいかないものの幼稚園備品や図書等の充実に努めた。今後も引き続き対応し、さらなる充実に努めたい。

食育課

施策の成果及び執行実績

1 学校給食管理費

- (1) 学校給食一般経費 991,308 円
 ・ 公用車 ガソリン代・車検代 他

【点検及び評価】

学校給食一般事務に関する経費公用車車検代、ガソリン代他として使用。
 必要経費のため、削減が厳しい。

2 学校給食センター費

- (1) 学校給食センター管理運営費 314,345,593 円

○学校給食センターの管理運営にかかる経費

- ・ 臨時職員賃金 15,747,520 円

※職員の状況 (人)

- ・ センターにおける日常的な修繕や法令に基づく定期検査等の施設維持管理経費

所長	事務職員	栄養士	栄養補助職員	調理員	
				(正)	(臨)
1	2	2	2	15	14

78,990,905 円

備品修繕 181,882 円

スライサー刃研ぎ 軽四ダンプ修理 他

施設修繕 279,244 円

インターホン表示工事、壁面コンテナ衝突対策・ショックストッパー設置 他

手数料 755,820 円

受水槽清掃料 108,000 円

学校給食用食品検査料 90,180 円

検便手数料 532,800 円

簡易専用水道法定検査手数料 18,500 円

委託料 77,773,959 円

衛生害虫防除消毒作業委託料 142,560 円

栄養計算システム保守業務委託料 142,560 円

給食配送・回収等業務委託料 72,883,979 円

電気工作物保安管理業務委託料 759,456 円

消防設備保守点検等委託料 187,920 円

エレベーター保守点検委託料 738,720 円

施設保安業務委託料 272,160 円

清掃業務委託料 194,400 円

排水処理施設保守点検業務委託料 1,021,248 円

空調機器及び換気扇保守点検委託料 367,200 円

排水処理施設汚泥収集運搬業務委託料 540,000 円

排水処理施設汚泥処分業務委託料 523,756 円

食育課

施策の成果及び執行実績

《給食実施状況》

①配食施設別給食人員

施設種別	小学校	中学校	給食センター	合計
施設数	17校	7校	1施設	25
食数	2,362	1,457	36	3,857食

②給食内容

給食回数	週5日の完全給食
給食実施日数	191日
主食の内容	米飯・・・週4回 パン・・・週1回
主食について	米飯・パンを丸仙製パン（株）へ委託

③給食費徴収金

区分	月額	日額	備考
小学校（低学年）	3,900円	250円	
小学校（中学年）	4,100円	260円	
小学校（高学年）	4,300円	270円	小学校教職員
中学校	4,600円	280円	中学校教職員、ALT、栄養士、給食センター職員
試食		300円	ふるさと給食、ゲストティーチャー等

④学校給食センターにおける給食費収支状況（平成27年度現年度分）

給食費徴収金調定額	給食費徴収金収納額	賄材料費	収入未済額
184,929,330円	184,842,930円	187,346,543円	86,400円

⑤給食費徴収金（滞納分）の状況

	幼稚園	小学校	中学校	合計
平成26年度までの滞納額	7,200円	763,339円	1,125,906円	1,896,445円
平成27年度中の収納額	円	89,635円	186,500円	276,135円
差引滞納額	7,200円	673,704円	939,406円	1,620,310円

○学校給食センター運営委員会の開催

第1回開催日：平成27年7月23日 第2回開催日：平成28年2月19日

委員：小学校長代表1人 中学校長代表1人 栄養教諭2人

P T A代表10人 養護教諭代表2人 計16人

施策の成果及び執行実績

- 学校給食センター従事職員への衛生管理等に関する研修会の実施
開催日：平成27年8月26日 場所：志摩市学校給食センター
研修内容：衛生管理講習、安全管理講習、総合防災訓練
参加者：36人（調理員、事務職員、栄養教諭、学校栄養補助職員）

- 食物アレルギー対応状況
除去食・代替食対応 65名

- 地場産物を使った「志摩のふるさと給食」を実施
6月 あのりサバ 11月 あじ、磯部みかん 1月 あおさ、船越みそ、磯部み

- サミット開催国の産物を使った「サミット給食」を実施
1月イタリア、アメリカ 2月カナダ、イギリス 3月フランス

【点検及び評価】

平成25年9月から志摩市学校給食センター1施設で給食を提供している。
平成27年度は、市内小中学校の生徒に1日約4,000食の提供を実施した。昨年度に引き続き給食の配送業務・回収業務については、志摩市東部を前島運送有限会社和具営業所、志摩市西部をミナミ運輸有限会社に委託した。主食は1週間の内米飯が4日、パンが1日を基本として丸仙パン株式会社に委託した。
給食費の未納については、学校と協力して回収に努めた。電話、未納通知等連絡も行った。現年度の未納が極力発生しないよう、今後も学校と連携して取り組んでいきたい。

食育の一環として地場産物を使った「志摩のふるさと給食」を各学期に1回実施した。地元でとれる産物や旬の食材について興味をもち、理解を深めるとともに、食育の一助として役立てることができた。サミット開催決定に合わせ、開催国の郷土料理を模倣したサミット給食も実施し、国際的な食に興味を持つ動機づけになったと考える。

なお、食物アレルギー対応について、平成27年度中は大きな事故につながる事案は発生しなかった。また平成28年2月に三重県教育委員会より、『学校におけるアレルギー疾患 対応の手引き』が発行された。今後はこの手引きによりアレルギー対応を行うことになる。今後も家庭、学校、学校給食センターが連携を密にして事故防止に努めなければならないとの思いを深めている。

学校人権教育課

施策の成果及び執行実績

3 事務局学事庶務費

- (1) 事務局学事庶務一般経費 2,609,116 円
小中学校・幼稚園の学事庶務全般に係る一般事務経費
- (2) スクールバス運行管理事業 3,803,120 円
浜島小学校の遠距離通学者に対してスクールバスの運行を委託
- (3) 学校保健事業 1,885,950 円
学校保健安全法の規定により義務付けられている教職員健康診断や翌年度就学児童（303人）を対象とした健康診断を実施

4 事務局指導費

- (1) 事務局指導一般経費 26,741,933 円
教育指導員・学校評議員・学校運営協議会委員の報酬や、メール配信システム利用料、AEDリース料、各種負担金など学校運営及び事務局にかかる一般経費
- (2) 職場体験事業 600,000 円
職場体験事業

自分の将来の生き方や進路を模索し始める中学生を対象に、学校、家庭、地域社会が一丸となって地域ぐるみで職場体験活動を実施することで、「地域の子どもは地域で育てる」という気運を高めた。

事業名	事業費	学校名等	備考
職場体験事業	600,000	中学校2年生対象 全7校15学級	市単

- (3) 外国語指導助手事業 16,870,680 円

小学校206回、中学校582回
※延派遣回数（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

業務名	契約金額	契約業者	備考
外国人英語指導業務	16,870,680円	(株)インタラック名古屋支店	4人

【点検及び評価】

小学校におけるALTの活用については、小学校5・6年で週1コマ「外国語活動」を実施しており、小学校の英語教育の重要性が高まる中、各中学校と日程調整を行い、できる限り小学校への派遣を確保することに努めた。

各学校へのALTの派遣は、グローバル化が急速に進展する中、英語のコミュニケーション能力の向上は欠かせない重要な施策と考える。このことがグローバル人材の育成につながる。

学校人権教育課

施策の成果及び執行実績

(4) 授業研究指定校モデル事業 700,000 円

志摩市の子どもの「学び」を実現するために、その第一歩として「学び」の基礎・基本となる教科の学習を充実させた。

事業名	事業費	学校名等	備考
授業研究指定校事業	700,000円	浜島小 神明小 安乗小 浜島中 大王中 志島小 甲賀小 国府小 志摩中 安乗中	市単

(5) 幼稚園・小学校・中学校の指導及び助言

指導主事活動状況（年間の要請回数合計であって、延べ人数ではない）

（小学校・・・17校）

番号	学校名	回数
1	浜島小学校	11
2	波切小学校	2
3	船越小学校	3
4	片田小学校	5
5	布施田小学校	8
6	和具小学校	1
7	越賀小学校	3
8	鷺方小学校	4
9	神明小学校	17
10	立神小学校	11
11	甲賀小学校	12
12	志島小学校	7
13	国府小学校	6
14	安乗小学校	11
15	磯部小学校	25
16	的矢小学校	6
17	成基小学校	0
		132

（中学校・・・7校）

番号	学校名	回数
1	浜島中学校	4
2	大王中学校	7
3	志摩中学校	4
4	文岡中学校	5
5	東海中学校	7
6	安乗中学校	3
7	磯部中学校	26
	計	56

（幼稚園・・・7園）

番号	園名	回数
1	浜島幼稚園	3
2	大王幼稚園	3
3	志摩幼稚園	13
4	和具幼稚園	4
5	鷺方幼稚園	5
6	国府幼稚園	2
7	磯部幼稚園	3
	計	33

【点検及び評価】

【点検及び評価】

平成27年度は、幼稚園7園に対するべ33回、小学校17校に対してのべ132回、中学校7校に対してのべ56回、合計221回の要請訪問を行った。

前年度と比較すると、幼稚園は同数であり、小学校は34回の減、中学校は19回の増、合計では9回の減であった。訪問回数が減った理由としては、学校再編に関わる学校への訪問回数が減少したのが特徴的である。再編に向けて様々な行事等を行ったり、準備を進めることに多くの時間が必要となったことがうかがえる。

施策の成果及び執行実績

逆に、大きく増加している学校もある。これは、全体研修会だけではなく、研修担当者や研修等のミーティング段階から、指導主事が関わるような体制をとったからである。このことで、より具体的な取組について指導を行うことができた。教職員のニーズに寄り添った支援したりすることができた。今後学校再編で学校数も少なくなることから、このような形の支援を充実させていきたいと考える。

また、特別支援、人権教育に係る相談も増加傾向にある。一人ひとりの児童・生徒について、あるいはある学年の人権教育の進め方について、教員に寄り添いながら支援するスタイルが求められている。こういった点でも、全体的、単発的な関わりに終わることなく、継続した丁寧な訪問を続けていく必要がある。

学力向上の視点からは、本年度も市の「授業研究指定校事業」推進のため、多くの訪問を行った。授業の在り方、指導方法を研修するとともに、授業の中で見せる子どもたちの様々な様子をどうとらえるかといった児童・生徒理解も含めて、指導・助言を行ってきた。

研究発表の場ではその成果を市内に発信し、市内の学校全体の授業力向上を図った。今後も継続して、児童・生徒の学力向上につながる授業改善を目指し、指導を行う必要がある。

また、県や国の学力向上に係る事業等も考慮しながら、より学校への関わりを強めていく予定である。

(6) 教育特区管理経費 127,000 円

構造改革特別区域法により認可した学校設置会社の設置する学校の経営診断及び私立学校審議会に要した経費

(7) 学べる里海推進事業 1,084,863 円

里海的环境保全と利用について考える授業を行った。

(波切小学校は、シーカヤック体験及び水産高校との交流会及び写生等)

(船越小学校は、水産高校との交流学习)

(片田小学校は、郡上市立牛道小学校と磯体験を通じた交流及び三重県水産研究所見学)

(布施田小学校は、海岸美化活動及びエビ網漁業体験)

(和具小学校は、エビ網漁業体験及び水産高校の生徒と干物作り)

(越賀小学校は、海ほおずきでの磯体験及び水産高校との交流学习等)

(鵜方小学校は、海ほおずきでの磯体験及び広域ごみ処理施設見学)

(神明小学校は、水産高校との交流学习及び横山ビジターセンターならびに広域ごみ処理施設の見学等)

(立神小学校は、アオサ養殖ならびに真珠養殖の作業体験及び草木染め及び広域ごみ処理施設の見学)

(志島小学校は、三重県立水産研究所の見学及び海ほおずきでのひものづくり体験)

(国府小学校は、アオサ養殖体験及び広域ごみ処理施設ならびに磯部浄水場の見学等)

(安乗小学校は、シーカヤック体験)

(磯部小学校は、広域ごみ処理施設見学)

(的矢小学校は、的矢カキの養殖体験及び海ほおずきでの磯体験等)

(成基小学校は、鳥羽志摩クリーンセンター見学)

学校人権教育課

施策の成果及び執行実績

- (8) 夢の教室開催事業 298,560 円
 子どもが社会性を育む場である外遊びが減ったこともあり、体力低下や運動不足を危惧する声の高まりや、いじめや不登校、自殺願望といった問題を食い止めることが求められていることから、「JFAこころのプロジェクト」を活用し、子どもの心身の健全な成長を促進した。
- (9) 教育支援センター事業 1,548,690 円
 様々な事情で学校生活に適応できない児童・生徒に対し、個々の実態に合わせた支援を行い、学校適応や学校復帰及び自立を目指した指導を行った。
- (10) 通学安全改善事業 464,400 円
 的矢地区から鵜方小学校に通学する児童が安全にスクールバスに乗降できるようバス待合所の整備を行った。
 契約名 : 平成27年度の的矢通学バス待合所舗装工事
 契約相手方 : 磯部建設工業株式会社
 契約金額 : 464,400円
- (11) 学校防災学習事業 288,800 円
 防災に関する授業を行った。
 (波切小学校は、防災タウンウォッチングならびに学校学習集会(簡易担架づくり))
 (和具小学校は、防災タウンウォッチングならびに防災学習発表会及び職員研修)
 (国府小学校は、防災タウンウォッチングならびに防災カレンダー作成)
 (安乗中学校は、防災教育講演会及びタウンウォッチング並びに図上演習)
- (12) 小中学校作品展経費 529,134 円
 市内の全小・中学生が「サミット」に関連する作品を作り上げることにより、サミットへの関心を高めるとともに、作品を展示することで歓迎ムードを表すために要した経費(表彰盾、表彰状、記念品等)
- (13) 伊勢志摩サミット学習事業 410,595 円
 市内の全小・中学生がサミットへの関心を高め、歓迎ムードを表すため、「サミット」に関連する事業の取り組みを行った。

事業名	事業費	学校名等	備考
伊勢志摩サミット学習事業	410,595円	波切小, 布施田小, 片田小, 志島小, 国府小, 磯部小, 浜島中, 大王中, 志摩中	市単

学校人権教育課

施策の成果及び執行実績

5 情報システム管理費

- (1) 情報システム管理一般経費 11,644,695 円

・教育情報システムの保守委託料及び通信回線の利用料

業務名	契約金額	契約業者
光ケーブル利用料	543,672円	株式会社 ゼットティヴィ
	2,347,380円	松阪ケーブルテレビステーション株式会社
地域イントラ基盤設備整備事業システム保守委託	6,745,383円	株式会社 松阪電子計算センター
学校情報化基盤整備事業システム保守業務委託	2,008,260円	株式会社 松阪電子計算センター

4 小学校学事庶務管理費

- (1) 小学校学事庶務一般経費 70,932,497 円

小学校の管理運営に係る経常的経費

- (2) 小学校課外活動支援事業 3,664,714 円

社会見学や学校水泳、他校との交流・交歓学習等を実施するために要する経費や児童が各種コンクールや大会に参加する場合の経費に対して補助金を交付した。

【点検及び評価】

各事業実施に対する補助を行うことにより、児童の知識や人間性の向上、社会の変化に主体的に対応できるための資質や能力の育成、心身の鍛練や社会的視野を広げる等、学校教育の振興及び充実を図ることに寄与するための有効な施策と考える。

学習研修等補助金、修学旅行等引率費補助金、選手派遣補助金に係る事業については全17校にて実施、また里海関連事業として波切・船越・片田・布施田・和具・越賀・鶴方・神明・立神・志島・国府・安乗・磯部・的矢・成基小学校にて事業を実施した。

5 小学校保健費

- (1) 小学校保健一般経費 785,996 円

各学校の医薬材料費と学校環境衛生検査（飲料水・照度・騒音・空気等）の手数料

- (2) 校医等報酬経費 10,895,000 円

学校内科医（14人）・眼科医（4人）・歯科医（14人）・薬剤師（11人）に対する報酬

- (3) 小学校健康診断等関係経費 1,605,189 円

尿検査（全員）、ぎょう虫卵検査（小1～3）、心臓検診（小1）、結核検診（転校生）、耳鼻科検診（小1・4）の検診手数料

【点検及び評価】

学校保健安全法・同法施行令・同法施行規則に基づき、内科医等の校医による各種健康診断を市内全小学校において実施すると共に、この健康診

施策の成果及び執行実績

断等において異常等が発見された児童に対しては二次検査の実施や医療機関の受診等を促すことによって、児童の健康の保持増進を図った。

H27年度 対象児童数 (H27.5.1時) 2,129人

また、学校薬剤師による空気検査や照度検査等を実施することにより、学校環境の維持又は改善の検討等を行った。

H27年度 検査対象施設数 小学校17校

6 情報システム管理費

- (1) 小学校教育用パソコン管理経費 524,928 円

各小学校に設置したパソコン及びプリンタのメンテナンスにかかる経費

7 小学校介助員等配置事業費

- (1) 小学校介助員等配置事業 59,210,681 円

特別支援学級の対象児童や普通学級における要支援対象児童を支援するために、生活面でのサポートを行う介助員を配置した。

人数(延) 36人、賃金 59,047,639円、旅費 163,042円

【点検及び評価】

介助員等の配置については、各学校や園からの要望を受け就学指導委員会等で検討し支援を要する児童生徒に対し十分とまではいかないものの配置することができたが、小学校・中学校・幼稚園とも年々支援を要する児童生徒が増加傾向にあり、特別に支援を要する児童生徒にきめ細かく対応することが求められることから、預かり保育を含め今後においても介助員等の配置について検討していく必要がある。

なお、この事業については、直接的には支援を必要とする児童生徒対応であるが、間接的には他の児童生徒の支援にもなっていることから有意義な事業と考える。

8 小学校通学対策事業費

- (1) 小学校児童送迎事業 587,520 円

磯部町坂崎地区の児童が磯部小学校に通うための送迎を委託
対象児童2人

- (2) 小学校通学安全対策助成事業 974,532 円

自転車通学を許可されている児童が自転車を購入した際の購入金額の1/2(上限10,000円)補助、ヘルメットを購入した際の購入金額の1/2(上限1,000円)補助、和具小学校へ通う御座地区の児童及び波切小学校へ通う畔名地区の児童の通学定期代金の全額補助、磯部小学校への通学に公共交通機関を利用する児童の通学定期券代金の1/2補助並びに的矢小学校へ通う渡鹿野・三ヶ所地区の児童の冬期及び雨天時の仕立て船代金

【点検及び評価】

補助対象となる小学校に通学する遠距離の児童の保護者に対し、義務教育の円滑な運営に資することを目的として通学費の一部又は全部を予算の範囲内において補助することを実施した。児童の通学の安全を確保すると共に、保護者の経済的負担の軽減を図る事業として有効な施策と考える。

補助対象児童数

自転車購入補助 6人(磯部小学校)

ヘルメット購入補助 10人(磯部小学校5人、鵜方小学校5人)

学校人権教育課

施策の成果及び執行実績

通学定期券購入補助・・・23人（和具小学校11人、波切小学校12人）
仕立て船代金補助・・・4人（的矢小学校）

2 小学校学事庶務振興費

- (1) 小学校就学援助経費・・・・・・・・・・・・・・・・ 23,360,956 円

小学校に在学する児童で経済的な理由により就学困難と認められる児童の保護者に対して学用品費、給食費、修学旅行費、医療費（学校健診により学校保健法に基づく疾病のみ）等に支給を行った。

特別支援教育就学奨励費については、特別支援学級にいる児童に支給を行った。

【点検及び評価】

経済的な理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し必要な援助を行い、憲法、教育基本法に定める教育の機会均等の趣旨に沿った施策であり、成果向上に大きく貢献する施策である。平成17年度より準要保護の国庫補助制度が無くなっているが引き続き市における施策の実施が必要である。

- (2) 小学校教材購入経費・・・・・・・・・・・・・・・・ 4,298,634 円

小学校の授業や教育活動で使用する教材にかかる経費

3 小学校災害補償費

- (1) 小学校災害共済事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 3,600,757 円

日本スポーツ振興センターへの共済掛金（児童全員分）と災害給付金

・収入の状況

日本スポーツ振興センター災害給付金 1,642,027 円

【点検及び評価】

日本スポーツ振興センター災害給付金は、児童生徒が学校の管理下（通学経路を利用して朝、家を出て、家に帰るまで）において発生した災害により、負傷・疾病を受けた場合、その治療（保険治療）に要する費用を、死亡・障がいの場合には見舞金を支給し、学校安全の普及・充実を図ることを目的とした制度であり、この制度に係る共済掛金（児童全員分）については市が全額負担している。

児童生徒における学校安全の普及等を図るための有意義な事業と考える。

4 中学校学事庶務管理費

- (1) 中学校学事庶務一般経費・・・・・・・・・・・・・・・・ 35,697,430 円

中学校の管理運営に係る経常的経費

- (2) 中学校課外活動支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 12,499,048 円

社会見学や学校水泳、他校との交流・交歓学習等を実施するために要する経費や生徒が各種コンクールや部活動の大会に参加する場合の経費に対して補助金を交付した。

【点検及び評価】

各事業実施に対する補助を行うことにより、生徒の知識や人間性の向上、社会の変化に主体的に対応できるための資質や能力の育成、心身の鍛練や社会的視野を広げる等、学校教育の振興及び充実を図ることに寄与するための有効な施策と考える。

学習研修等補助金、選手派遣補助金、修学旅行等引率費補助金について全7校に補助を実施した。

学校人権教育課

施策の成果及び執行実績

5 中学校保健費

- (1) 中学校保健一般経費 264,171 円
各学校の医薬材料費と学校環境衛生検査（飲料水・照度・騒音・空気等）の手数料
- (2) 校医等報酬経費 4,913,480 円
学校内科医（8人）・眼科医（4人）・歯科医（7人）・薬剤師（6人）に対する報酬
- (3) 中学校健康診断等関係経費 1,213,013 円
尿検査（全員）、心臓検診（中1）、耳鼻科検診（中1）の検診手数料

【点検及び評価】

学校保健安全法・同法施行令・同法施行規則に基づき、内科医等の校医による各種健康診断を市内全中学校において実施すると共に、この健康診断等において異常等が発見された生徒に対しては二次検査の実施や医療機関の受診等を促すことによって、生徒の健康の保持増進を図った。

H27年度 対象生徒数（H27.5.1時） 1,339人

また、学校薬剤師による空気検査や照度検査等を実施することにより、学校環境の維持又は改善の検討等を行った。

H27年度 検査対象施設数 中学校7校

6 情報システム管理費

- (1) 中学校教育用パソコン管理経費 290,971 円
各中学校に設置したパソコン及びプリンタのメンテナンスにかかる経費

7 中学校介助員等配置事業費

- (1) 中学校介助員等配置事業 30,647,559 円
特別支援学級の対象児童や普通学級における要支援対象児童を支援するために、生活面でのサポートを行う介助員を配置した。

人数（延） 18人 、 賃金 30,423,439円、 旅費 224,120円

【点検及び評価】

介助員等の配置については、各学校や園からの要望を受け就学指導委員会で検討し、支援を要する児童生徒に対し十分とまではいかないものの配置することができたが、小学校・中学校・幼稚園とも、年々支援を要する児童生徒が増加傾向にあり、特別に支援を要する児童生徒にきめ細かく対応することが求められることから、預かり保育を含め今後においても、介助員等の配置について検討していく必要がある。

なお、この事業については、直接的には支援を必要とする児童生徒対応であるが、間接的には他の児童生徒の支援にもなっていることから有意義な事業と考える。

8 中学校通学対策事業費

- (1) 中学校通学安全対策助成事業 6,336,204 円

自転車通学を許可されている生徒が自転車を購入した際の購入金額の1/2（学校再編により閉校となる校区から通学する生徒については上限15,000円、その他は上限10,000円）補助、ヘルメットを購入した際の購入金額の1/2（上限1,000円）補助、文岡中学校へ通う渡鹿野地区の生徒の通学定期券代金及び定期船代金の全額補助、志摩中学校へ通う片田・布施田・間崎・越賀・御座地区の生徒の通学定期券代金の全額補助、大王中学校へ通う船

施策の成果及び執行実績

越地区の生徒の通学定期券代金の全額補助並びに磯部中学校への通学に公共交通機関を利用する生徒の通学定期券代金の1/2補助

【点検及び評価】

補助対象となる中学校に通学する遠距離の生徒の保護者に対し、義務教育の円滑な運営に資することを目的として通学費の一部又は全部を予算の範囲内において補助することを実施した。生徒の通学の安全を確保すると共に、保護者の経済的負担の軽減を図る事業として有効な施策と考える。

補助対象生徒数

自転車購入補助・・・13人（浜島1人、大王8人、東海2人、磯部2人）

ヘルメット購入補助・・・61人（浜島20人、大王1人、文岡10人、東海2人、磯部28人）

通学定期券購入補助・・・150人（大王14人、和具133人、磯部3人）

- (2) 中学校生徒送迎事業・・・・・・・・・・ 5,185,020 円

磯部町的矢地区・三ヶ所地区の生徒が文岡中学校へ通うための送迎を委託

2 中学校学事庶務振興費

- (1) 中学校就学援助経費・・・・・・・・・・ 26,070,175 円

中学校に在学する生徒で経済的な理由により就学困難と認められる生徒の保護者に対して学用品費、給食費、修学旅行費、医療費（学校健診により学校保健法に基づく疾病のみ）等に支給を行った。

特別支援教育就学奨励費については、特別支援学級にいる生徒に支給を行った。

【点検及び評価】

経済的な理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し必要な援助を行い、憲法、教育基本法に定める教育の機会均等の趣旨に沿った施策であり、成果向上に大きく貢献する施策である。平成17年度より準要保護の国庫補助制度が無くなっていくが引き続き市における施策の実施が必要である。

- (2) 中学校教材購入経費・・・・・・・・・・ 3,893,978 円

中学校の授業や教育活動で使用する教材にかかる経費

3 中学校災害補償費

- (1) 中学校災害共済事業・・・・・・・・・・ 4,417,204 円

日本スポーツ振興センターへの共済掛金（生徒全員分）と災害給付金

・収入の状況

日本スポーツ振興センター災害給付金 3,164,254 円

【点検及び評価】

日本スポーツ振興センター災害給付金は、児童生徒が学校の管理下（通学経路を利用して朝、家を出て、家に帰るまで）において発生した災害により、負傷・疾病を受けた場合、その治療（保険治療）に要する費用を、また、死亡・障がいの場合には見舞金を支給し、学校安全の普及・充実を図ることを目的とした制度であり、

学校人権教育課

施策の成果及び執行実績

この制度に係る共済掛金（生徒全員分）については市が全額負担している。
児童生徒における学校安全の普及等を図るための有意義な事業と考える。

5 幼稚園学事庶務管理費

- (1) 幼稚園学事庶務一般経費 17,080,145 円

幼稚園の管理運営に係る経常的経費

・収入の状況

幼稚園保育料 14,179,900 円

幼稚園預かり保育料 8,554,125 円

幼稚園保育料滞納繰越分 9,000 円

- (2) 臨時教諭等賃金 23,728,783 円

幼稚園教諭補助11人を配置し、正規職員の補助を行った。

6 幼稚園保健費

- (1) 幼稚園保健一般経費 131,006 円

各園の医薬材料費と学校環境衛生検査（飲料水・照度・騒音・空気等）の手数料

- (2) 園医等報酬経費 2,845,840 円

学校内科医（7人）・眼科医（4人）・歯科医（7人）・薬剤師（6人）に対する報酬

- (3) 幼稚園健康診断等関係経費 151,023 円

尿検査、ぎょう虫卵検査の手数料

【点検及び評価】

学校保健安全法・同法施行令・同法施行規則に基づき、内科医等の園医による各種健康診断を市内全幼稚園において実施すると共に、この健康診断等において異常等が発見された園児に対しては二次検査の実施や医療機関の受診等を促すことによって、園児の健康の保持増進を図った。

H27年度 対象園児数（H27.5.1時） 357人

また、学校薬剤師による空気検査や照度検査等を実施することにより、学校環境の維持又は改善の検討等を行った。

H27年度 検査対象施設数 幼稚園7園

7 幼稚園介助員等配置事業費

- (1) 幼稚園介助員等配置事業 20,735,580 円

特別支援を要する幼児を支援するために、生活面でのサポートを行う介助員を配置した。

人数（延） 11人 、 賃金 20,732,000円、 旅費 3,580円

【点検及び評価】

介助員等の配置については、各学校や園からの要望を受け就学指導委員会で検討し、支援を要する児童生徒に対し十分とまではいかないものの配置することができたが、小学校・中学校・幼稚園とも、年々支援を要する児童生徒が増加傾向にあり、特別に支援を要する児童生徒にきめ細かく対応することが求められることから、預かり保育を含め今後においても、介助員等の配置について検討していく必要がある。

なお、この事業については、直接的には支援を必要とする児童生徒対応であるが、間接的には他の児童生徒の支援にもなっていることから有意義な事業と考える。

学校人権教育課

施策の成果及び執行実績

8 幼稚園災害補償費

- (1) 幼稚園災害共済事業 142,158 円
 日本スポーツ振興センターへの共済掛金（園児全員分）と災害給付金
 ・収入の状況
 日本スポーツ振興センター災害給付金 36,548 円

【点検及び評価】

日本スポーツ振興センター災害給付金は、児童生徒が学校の管理下（通学経路を利用して朝、家を出て、家に帰るまで）において発生した災害により、負傷・疾病を受けた場合、その治療（保険治療）に要する費用を、また、死亡・障がいの場合には見舞金を支給し、学校安全の普及・充実に資することを目的とした制度であり、この制度に係る共済掛金（園児全員分）については市が全額負担している。
 児童生徒における学校安全の普及等を図るための有意義な事業と考える。

19 人権教育振興事業費

- (目) 8 人権教育振興費 (単位 千円)

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,966				1,570	4,396

- (1) 人権教育一般経費 2,371,102 円

人権が尊重されるまちづくりのため、関係機関や諸団体との協力・連携のもと、人権教育の推進と啓発活動を実施した。

①社会教育指導員 委嘱…1人

社会教育のうち主に人権教育に関する指導、助言を行う。市内幼稚園・小中学校へは人権教育の実践研究を通じて交流を行い、人権教育の充実に資した。（週5日）

社会教育指導員報酬 1,680,000円 同費用弁償 148,350円

②その他経費

職員時間外手当 514,752円 消耗品費 28,000円

- (2) 人権教育関係補助金 700,000 円

学校教育や地域における社会教育を通して、人権文化を構築する主体者づくりをめざすため、人権教育に携わるすべての保育・教育関係職員の連携と連帯を土台にした人権教育の研修、実践を推進し、あらゆる差別の解消と人権の確立をめざすため、志摩市人権教育研究会へ補助金を交付した。

- (3) 人権感覚あふれる学校づくり支援事業 750,000 円

市内各中学校区を単位として、代表校へ児童・生徒のための人権教育に繋がる実践及び研修活動を委託した。

委託金 70,000円×2中学校区＝140,000円（浜島・安乗中学校区）
 100,000円×2中学校区＝200,000円（大王・東海中学校区）
 120,000円×2中学校区＝240,000円（志摩・文岡中学校区）
 170,000円×1中学校区＝170,000円（磯部中学校区）

学校人権教育課

施策の成果及び執行実績

(4) しまふれあい人権フォーラム事業 ・ ・ ・ ・ ・ 514,320 円

市民が、学校で人権学習を受けている児童・生徒と心の交流を図ることにより、自分を見つめ直し、互いの人権感覚を高め、人権問題を市民一人一人のものとし、その解決に向け主体的に行動できる人権意識の高揚をめざしフォーラムを実施した。

参加者：715人 バス借上料 514,320円

(5) 人権教育推進研修事業 ・ ・ ・ ・ ・ 57,580 円

三重県人権教育基本方針及び志摩市人権教育基本方針に基づき、人権教育を推進するために、市内小中学校・幼稚園・保育所の管理職や初任者等に対して研修を行った。

講師謝礼 50,000円 費用弁償 7,580円

(6) 子ども支援ネットワーク構築事業 ・ ・ ・ ・ ・ 750,000 円

いじめや他の要因により、安心して学び生活することを阻害され学習意欲を奪われたり、教育的に不利な環境のもとにある子どもたちの学びを保証するため、子どもが生活基盤を置く中学校区をベースとして「子ども支援ネットワーク委員会」を構築し、地域連携を主題とした人権教育事業を行った。

講師謝礼 240,000円 費用弁償 11,980円
消耗品費 407,704円 使用料及び賃借料 90,316円

(7) 人権教育総合推進地域事業 ・ ・ ・ ・ ・ 823,639 円

学校、家庭、地域社会が一体となった人権教育の総合的な取組を推進し、地域全体で人権意識を培うための人権尊重の精神を高め、一人ひとりを大切にされた教育の充実を図るための実践研究を行った。

講師謝礼 340,000円 費用弁償 41,420円 普通旅費 113,980円
消耗品費 61,728円 印刷製本費 164,592円
使用料及び賃借料 101,919円

【点検及び評価】

子どもたちを取り巻く人権課題が深刻化している中で、正しい認識を育て、生きる力を獲得していく人権教育の推進は必要な施策である。推進していくためには、指導者育成とスキルアップのため、学校・幼稚園等関係機関と連携し、職員等への研修の場を積極的に提供していく必要がある。

生涯学習スポーツ課

施策の成果及び執行実績

2 社会教育総務費

(1) 社会教育一般経費 318,980 円

社会教育の振興・発展にかかる一般事務経費

(2) 社会教育委員経費 131,100 円

社会教育法第15条第1項の規定に基づいて社会教育委員を設置し、会議を2回開催した。

社会教育委員：9人(H27. 11. 25～8人) 任期：2年

社会教育委員報酬 126,500 円

(3) 社会教育関係補助金 583,000 円

○社会教育団体等の育成支援

補助団体	補助金額(円)
志摩市女性の会連合会	583,000

(4) 成人式開催事業 566,482 円

20歳になった青年の前途を市民全員で祝福するとともに、新成人が豊かな感性や創造性を持ち、まちづくりの重要な担い手として、さらには、将来の社会を支える一員として自らも自立し、そのための責任を自覚する機会を提供する場として、成人式を開催した。

○平成28年志摩市成人式

・平成28年1月10日 阿児アリーナ(式典会場：オーシャンホール)

・出席者：新成人456人(男232人、女224人)

成人式典記念写真 390,100 円

【点検及び評価】

成人式について、新成人4人で成人式実行委員会が組織され、成人式典全般の企画・運営に携わった。式典でマーチングAGOによる演奏や卒業アルバムからのスライドショーや小学校・中学校時代の恩師の先生方に舞台に登場していただくこと等を企画した。

3 青少年育成事業費

(1) 青少年補導センター事業 473,769 円

青少年の健全な育成保護を図るため補導員を委嘱し、問題青少年及び青少年非行集団の早期発見や情報交換を行い、青少年の非行防止に必要な業務を行った。

青少年補導員報酬 455,500 円

○青少年補導センター補導員：36人 任期：2年

○街頭補導、合同補導の実施(通年)

	実施回数(回)	従事した補導員数(人)
街頭補導	110	110
合同補導	4	12

○情報・意見交換等のための全体会議を2回開催した。

生涯学習スポーツ課

施策の成果及び執行実績

(2) 青少年育成事業 1,197,400 円

青少年問題の重要性を深く認識し、関係機関及び団体との緊密な連携を図り、広く市民から理解と協力を得て次代を担う青少年の健全育成活動を推進することを目的に、実施を地域の団体に委託した。

契約名	契約相手方	契約金額 (円)
青少年育成事業	志摩市青少年育成市民会議	1,197,400

(3) 青少年育成関係補助金 473,000 円

○青少年育成団体の育成支援

補助団体	補助金額 (円)
志摩市青少年育成市民会議	473,000

【点検及び評価】

青少年育成市民会議の活動を支援することで、地域に根ざした活動ができている。餅つきや盆踊りの太鼓叩きなどの伝統文化の伝承や清掃活動、星空観察会等の事業を行い次代を担う子どもたちの健やかな成長に寄与した。

4 しまこどもセンター事業費

(1) しまこどもセンター事業 254,648 円

○しまこどもセンター活動推進協議会の開催

地域の教育力を活性化し、子どもたちに奉仕活動や体験活動の場や機会を提供するため、各地域の活動者や有識者を委員として委嘱し、会議を2回開催した。

しまこどもセンター活動推進協議会委員：22人 委員報償費 56,000 円

○しまこどもセンター事業の実施

学校・関係機関・各種団体が連携・協力を行い、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を確保するとともに、様々な体験活動や地域住民との多彩な交流活動を実施した。

報償費 76,000 円（講師謝礼）

・本部事業

平成27年8月25日 ジュニアリーダー研修（ともやま公園） 対象者18人参加

平成27年8月2日 「生きものの名前を調べてみよう」（阿児アリーナ）40人参加

・大王地区事業（サンサンキッズ大王） 書道教室を3回開催 延べ34人参加

・志摩地区事業（志摩たちごクラブ） 書道教室を11回開催 延べ214人参加

・阿児地区事業（ドキ・ワク阿ミ〜児） 平成27年12月12日

いも煮とフレッシュバター作り（障がい者支援施設「はばたき」） 56人参加

【点検及び評価】

しまこどもセンターとして、体験活動や地域住民との交流活動を実施することにより、青少年の健全育成の一助になったと考える。また、しまこどもセンター活動推進協議会は、地域や各種団体、企業からも委員が選出されており、会議では情報交換等を行い有意義なものとなった。

施策の成果及び執行実績

文化振興

1 文化財保存事業費

(1) 文化財保存一般経費 724,477 円

- ・ 文化財調査委員会委員：12人 任期：2年
- ・ 文化財の指定・登録

平成28年3月2日に、志摩市歴史民俗資料館所蔵の「志摩半島の生産用具及び関連資料」が、国の登録有形民俗文化財に登録された。

- ・ 埋蔵文化財の保護

埋蔵文化財包蔵地確認業務 981件

埋蔵文化財包蔵地における土木工事等の発掘届出書及び通知書提出における発掘調査等

発掘調査 3件 工事立会 19件

【点検及び評価】

志摩市文化財調査委員会の開催、文化財の登録・保護及び埋蔵文化財の保護や文化財防火査察等を行い、文化財の保護・啓発に努めた。

また、広報しま・志摩市ホームページに埋蔵文化財包蔵地の確認・調査についての情報を掲載し、文化財保護についての周知・啓発を行った。さらに、埋蔵文化財保護の観点から、平成27年5月から1,000㎡以上の開発行為について、埋蔵文化財の分布調査を実施した。

(2) 文化財保存関係補助金 980,000 円

○文化財の保存・伝承に対する助成

事業名	補助団体	補助金額（円）
わらじ祭り保存事業	波切自治会	300,000
大般若経保存事業（片田）	片田自治会	30,000
大般若経保存事業（立神）	立神自治会	30,000
安乗人形保存伝承奨励事業	安乗人形芝居保存会	260,000

安乗人形保存伝承奨励事業について、収蔵庫・人形の火災保険加入に伴い、平成27年度から60,000円増額した。

「安乗の人形芝居」の次世代への伝承や後継者の育成を目的に、鵜方小学校・安乗小学校で歴史文化体験教室を実施した。

○郷土の伝統芸能の保存・継承と後継者育成への支援

事業名	補助団体	補助金額（円）
安乗中学校文楽クラブ太夫・三味線養成事業	安乗中学校	360,000

【点検及び評価】

市内に受け継がれている伝統文化（行事）の保存・継承のため、各保存団体へ補助金を支出しているが、保存・継承に有効に活用されている。

また、郷土の伝統芸能保存・継承と後継者育成への支援については、安乗人形芝居保存会が伝統文化の体験教室を継続して実施しており、今年度は市内の小学校2校で実施し、人形芝居の伝承に努めた。

施策の成果及び執行実績

(3) 民俗芸能伝承事業 181,637 円

○ 磯部の御神田に関すること

国指定重要無形民俗文化財「磯部の御神田」の保存・伝承を図ることを目的に、師匠への謝金や当日の運営に係る必要な経費を支出した。
体験田の管理を地元農家に委託し、御神田体験田管理委託料として支出した。

【点検及び評価】

国指定重要無形民俗文化財「磯部の御神田」の保存・伝承を図ることを目的に、師匠及びアナウンサーに謝金を支出した。また、竹取神事の参加者への傷害保険料を支出した。

また、体験田を活用し幼稚園児が稲作体験を行うことにより、郷土の良さを認識してもらい、次世代への伝承に努めた。

(4) 遺跡発掘調査等事業 2,900,025 円

○ 塚穴古墳（志島古墳群第4号墳）の出土遺物保存処理

○ 遺跡詳細分布調査 阿児町、磯部町の一部の調査を実施

○ おじょか古墳（志島古墳群第11号墳）の発掘調査報告書（金属製品編）300部印刷

○ 地域文化財総合活性化事業

・「志摩のはじまりを求めて―市指定文化財佐々木コレクション展―」開催

・「志摩のはじまりを求めて」パンフレット印刷 2,000部

【点検及び評価】

本年度は国庫補助事業として、塚穴古墳（志島古墳群第4号墳）の出土遺物保存処理業務、阿児町と磯部町の遺跡詳細分布調査を実施し、またおじょか古墳（志島古墳群第11号墳）の発掘調査報告書（金属製品編）を刊行した。

さらに、県の地域文化財総合活性化事業として、志摩市歴史民俗資料館において平成28年3月19日から平成28年5月8日まで「志摩のはじまりを求めて―市指定文化財佐々木コレクション展―」を開催し、展示解説資料としてパンフレットを作成し配布を行った。企画展開催時には1,079人の来館者があり、埋蔵文化財に対する意識向上を図ることができた。

2 文化振興事業費

(1) 文化振興関係補助金 1,445,000 円

○ 文化振興団体の育成

志摩市文化協会補助金 1,340,000円（会員数 1,308人）

平成27年度の活動として、支部長会、役員会、総会の実施、また、友好都市（岐阜県郡上市）文化協会との交流事業として、郡上市文化協会会員の作品（写真）を市民ギャラリーに展示した。

○ スポーツ・文化全国大会等出場激励金

国際大会出場者1人、全国大会出場者11人に対し激励金を支出 105,000円

【点検及び評価】

志摩市文化協会に補助金を交付することにより、市民自らが参加する芸術文化活動の振興を支援するとともに、地域文化の創造と振興を図ることができた。

また、スポーツ・文化全国大会等出場激励金については、国際大会では「第43回技能五輪国際大会（洋菓子製造部門）」に出場し、銅メダルを受賞した者1人、全国大会では囲碁をはじめとした各種文化部門の大会に出場した生徒11人に対し激励金を支出し、文化活動の推進を図った。

生涯学習スポーツ課

施策の成果及び執行実績

文化会館

- 1 志摩文化会館施設費
 - (1) 志摩文化会館管理運営費 12,677,965 円
- 2 阿児アリーナ施設費
 - (1) 阿児アリーナ管理運営費 32,161,050 円
 - (2) 自主文化事業 670,667 円
- 3 磯部生涯学習センター施設費
 - (1) 磯部生涯学習センター管理運営費 27,864,986 円

○利用状況 (単位:件、人)

施設名	件数	市外	営利	減免	利用者数
志摩文化会館	1,136	55	51	550	30,767
阿児アリーナ	1,161	101	44	466	75,268
磯部生涯学習センター	1,059	64	60	394	26,635

○使用料 (単位:円)

施設名	使用料	減免金額
志摩文化会館	1,737,690	1,723,860
阿児アリーナ	10,145,065	2,883,750
磯部生涯学習センター	1,587,820	1,015,400

○自主文化事業

- ・伊勢管弦楽団コンサート
開催日：4月19日 場所：阿児アリーナ ベイホール 来場者：226人
- ・皇學館高等学校吹奏楽部コンサート
開催日：5月24日 場所：阿児アリーナ ベイホール 来場者：448人
- ・白子高等学校吹奏楽部コンサート
開催日：10月12日 場所：阿児アリーナ ベイホール 来場者：467人

【点検及び評価】

志摩文化会館・磯部生涯学習センターについては、地域の教育や文化の発展を図るため、地域住民の生涯学習、文化活動の活動拠点となるように努めた。

阿児アリーナについては、市の中核的な文化施設として、多様な市民のニーズに対応した様々な事業を行い、地域の教育や文化の発展及び向上を図った。本年度については、伊勢志摩サミットの開催に伴い阿児アリーナが平成28年1月12日から使用停止となったため、利用者数が例年と比較して減少した。

生涯学習スポーツ課

施策の成果及び執行実績

1 公民館費

(1) 公民館管理運営費 21,529,610 円

○施設利用状況

	施設名	使用件数 (件)	使用人数 (人)
公民館	浜島生涯学習センター	416	7,504
	大王公民館	921	15,765
	鵜方公民館	918	11,207
陶芸館	浜島あけぼの館	63	698
	志摩陶芸館	51	577
	阿児陶芸館	139	923

○収入の状況

	施設名	金額 (円)
公民館使用料	浜島生涯学習センター	132,750
	大王公民館	430,800
	鵜方公民館	379,100
	計	942,650
陶芸館使用料	浜島あけぼの館	55,200
	志摩陶芸館	25,800
	阿児陶芸館	132,816
	計	213,816

○施設修繕及び施設委託の状況

・需要費 (主な施設修繕料)

浜島生涯学習センター	火災報知機取替	24,840 円
浜島生涯学習センター	トイレ換気扇取替	16,200 円
浜島生涯学習センター	来訪者用センサー取付	11,340 円
大王公民館	テレビ配線修理	45,900 円
大王公民館	電柱SOG操作紐交換	37,800 円
大王公民館	トイレ修繕	23,868 円
大王公民館	舞台電灯盤修理	26,460 円
大王公民館	自動火災報知設備修繕	261,360 円
鵜方公民館	2階トイレ修繕	15,660 円
鵜方公民館	和室ふすま張替等修繕	91,800 円
鵜方公民館	コンセント増設工事	17,280 円
旧鵜方保育所	消防設備修繕	10,800 円

・需要費 (主な備品修繕料)

浜島生涯学習センター	公用車車検代等	34,020 円
浜島生涯学習センター	会議室机溶接修理	10,800 円
浜島あけぼの館	電気炉冷却ファン取替	11,772 円

生涯学習スポーツ課

施策の成果及び執行実績

・委託料 1,404,756 円

契約名	契約相手方	契約金額 (円)
浄化槽保守管理委託料 (浜島・大王・鵜方公民館・旧鵜方保育所・浜島あけぼの館)	志摩環境事業協業組合	311,040
電気工作物保安管理委託料 (浜島・大王公民館)	(財) 中部電気保安協会	237,816
防火対象物定期点検委託料 (浜島・大王・鵜方公民館)	IS (株)	81,000
防火対象物定期点検委託料 (旧鵜方保育所)	オキタ防災三重	16,200
火災報知設備等保守管理委託料 (浜島・大王・鵜方公民館・阿児陶芸館・浜島あけぼの館)	IS (株)	221,400
施設警備保障システム委託料 (浜島生涯学習センター)	イセツト (株)	194,400
環境整備業務委託料 (浜島生涯学習センター)	川利建設	129,600
デマンド監視業務委託料 (大王公民館)	(財) 中部電気保安協会	45,360
ガスヒートポンプエアコン保守点検業務委託料 (大王公民館)	(株) 波切ヤンマー商会	167,940

・臨時職員賃金 12,443,695 円

社会教育主事、一般事務補助、夜間管理人

施設名	金額 (円)
浜島公民館	3,909,770
大王公民館	5,070,150
鵜方公民館	3,463,775

(2) 公民館講座開催事業 2,640,000 円

市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として公民館講座（生涯学習講座）を開催した。

報償費 2,640,000 円（全地区公民館講座講師謝礼）

○各地区の講座実施状況

・一般講座

地区名	講座数	受講登録者数 (人)	延べ参加者数 (人)	報償費 (円)
浜島地区	9	172	1,870	445,000
大王地区	12	175	1,295	610,000
志摩地区	7	147	1,276	350,000
阿児地区	14	200	2,282	680,000
磯部地区	10	169	1,317	510,000
計	52	863	8,040	2,595,000

・高齢者学級

地区名	講座名	開催回数 (回)	延べ参加者数 (人)	報償費 (円)
浜島地区	つるかめ大学	6	438	20,000
志摩地区	はまゆう大学	10	198	15,000
磯部地区	くすのき講座	3	289	10,000
計		19	925	45,000

施策の成果及び執行実績

○収入の状況

公民館講座受講料（1人1講座につき1,000円）

地区名	受講料（円）	地区名	受講料（円）
浜島地区	172,000	阿児地区	200,000
大王地区	175,000	磯部地区	169,000
志摩地区	147,000	計	863,000

(3) 鵜方公民館改修事業 49,493,070 円

老朽化している鵜方公民館の屋上防水や外壁のひび割れ等修繕、男女兼用の1階トイレを男女別々に改修し、多目的トイレの新設、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への変更、自動ドア及び風除室を新設した。

- ・ 施工監理業務委託料（ナカムラ設計） 1,144,800 円
- ・ 実施設計業務委託料（松森建築設計事務所） 110,160 円
- ・ 単価入替業務委託料（松森建築設計事務所） 140,400 円
- ・ 工事請負費（畑中建設工業株式会社） 当初契約金額 41,828,400 円
変更契約金額 47,447,640 円
- ・ 工事請負費（畑中建設工業株式会社） 木製建具塗装修繕 264,600 円
- ・ 工事請負費（畑中建設工業株式会社） 和室壁塗装修繕 189,000 円

【点検及び評価】

生涯学習講座は各講座の講師及び受講者の自主的な運営に支えられているが、若年層の参加が少ない。体操やヨガなどは若い人や男性の参加もあり、今後も幅広い年代が参加できる魅力ある講座を企画していきたい必要がある。

公民館は地域住民にとってコミュニティの場であり最も身近な学習の場としての必要性が高い。この改修工事によって、利用者が安全・快適に利用できるようになった。また、玄関の段差もなくし、多目的トイレも新設されたので、利用者にとってより利用しやすくなった。

図書館費

(1) 図書館管理運営費 30,389,180 円

○図書館利用状況

	市立	磯部	志摩	大王	浜島	合計
貸出者数(人)	35,329	3,905	7,677	364	235	47,510
貸出冊数(冊)	142,079	14,013	25,650	1,295	805	183,842

○自主事業

「読み聞かせ会」「おはなし会」「図書・雑誌リサイクルフェア」等、数多くの自主事業を実施した。

○移動図書館

市内の図書館(室)から居住地が遠く、利用が困難な小学校の図書館等と連携をはかり、市内図書館(室)の図書資料を小学校等に運搬し、通学する児童に貸し出しを実施した。的矢小学校、安乗小学校、片田小学校、波切小学校、浜島小学校、えがお志摩保育園で実施し、5校1園へ年間合計4,756冊貸出。その他、浜島子育て支援センターへ毎月30冊、子育て支援センターわくわくの森へ隔週で30冊を貸出。

施策の成果及び執行実績

【点検及び評価】

新たな利用者層の拡大に向け、大人向けの図書館講座を開催した。図書館の資料を利用して、創作する楽しみを持ってもらう企画として、短歌・俳句・川柳を詠む講座を定期的に開催した。

また、図書資料の収集・整理・貸出を行い、利用者サービスの充実を図り、来館者に親しまれる図書館づくりに向けて多くの事業を開催した。

今後は講座や新規事業について、より多くの市民に参加してもらえるようにPR方法を工夫していく必要がある。

歴史民俗資料館

(1) 歴史民俗資料館管理運営費 6,318,289 円

○歴史民俗資料館入館者数 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	602	481	763	847	735	531	673	714	498	621	425	652	7,542

○企画展開催事業

企 画 名	開催日	入館者(人)
端午の節句展	4月17日～5月17日	573
賢島今昔物語展	5月29日～7月5日	961
館収蔵資料展 資料が語る戦争の記憶展	7月25日～9月6日	1,089
志摩大好きびとの研究発表展 国府の今昔	9月15日～10月11日	523
松原豊写真展 伊勢・磯部 伊勢神宮とは何か	10月4日～10月18日	352
志摩の生業2 波切の石工	11月3日～12月27日	1,185
伊勢志摩サミット開催記念 志摩半島の海女	1月16日～1月31日	364
伊勢志摩サミット開催記念 賢島今昔物語第2弾	2月20日～3月6日	251
志摩のはじまりを求めて 志摩市指定文化財 佐々木コレクション展	3月19日～5月8日	1,079

【点検及び評価】

今年度も多くの企画展を開催し、多数の来館者があった。また社会見学として保育園児から高齢者まで年代を超えた来館者があった。また、伊勢志摩サミット開催を機に、志摩の歴史や文化の問い合わせも多くあったため、レファレンスの充実を図った。

今後は国の登録有形民俗文化財に登録された「志摩半島の生産用具及び関連資料」を活用した企画展の開催、また常設展示のリニューアル等今後も歴史民俗資料館の充実を図っていきたい。

施策の成果及び執行実績

生涯スポーツ

1 スポーツ推進事業費

- (1) スポーツ振興補助金 5,320,000 円
- ・ 志摩市体育協会補助金 2,570,000円
 - ・ 志摩市スポーツ少年団補助金 1,620,000円
 - ・ 全日本大学ソフトボール選手権大会補助金 1,000,000円
 - ・ スポーツ文化全国大会等出場激励金 130,000円（個人 22件 ・ 団体 1件）

【点検及び評価】

志摩市体育協会については、各競技別による専門部が中心となり、専門性を活かした活動が活発となってきている。

志摩市スポーツ少年団については、団員の確保対策の1つとして募集チラシを作成、各小学校に配布し、一定の効果が認められた。

また、全国大会等出場激励金については、今後も当事業が活躍の一助となるよう役割を果たしていきたい。

- (2) 美し国三重市町対抗駅伝事業 700,000 円

契約名 美し国三重市町対抗駅伝業務委託
 契約相手方 美し国三重市町対抗駅伝 志摩市組織委員会
 契約金額 700,000円

【点検及び評価】

平成28年2月21日開催の第9回美し国三重市町対抗駅伝に出場する志摩市代表チームの選手選考や大会に向けての選手への指導等を行った結果、総合順位で11位、市部門で9位と昨年より2つ順位を上げることができた。今後も引き続き上位入賞を目指し競技力の向上支援と選手の強化を図っていきたい。

- (3) スポーツ教室開催事業 1,000,000 円

契約名 岡山シーガルズバレーボール教室開催業務委託
 契約相手方 「Vリーグ岡山シーガルズバレーボール教室」開催実行委員会
 契約金額 1,000,000円

【点検及び評価】

志摩市出身の山口舞選手が所属する「岡山シーガルズ」を招いて、平成27年8月30日に阿児アリーナにて主に小・中学生（参加者:200人）を対象としたバレーボール教室を開催した。

シーガルズの選手の指導による基礎練習等を行い、指導者向けのテーピング講習会も実施した。トップアスリートに触れ、その指導を受けることにより技術力はもとよりバレーボールに取り組む意識の向上も同時に図られた。

- (4) 国民体育大会準備経費 78,152 円

先催県（和歌山国体）視察研修
 ソフトボール競技会（紀の川市）：平成27年10月3日～5日
 ボクシング競技会（田辺市）：平成27年10月1日～5日
 ソフトボール競技事業概要説明会：平成28年2月3日
 ボクシング競技事業概要説明会：平成27年12月21日
 中央競技団体及び三重県による正規視察の受入

施策の成果及び執行実績	
-------------	--

ソフトボール競技：平成28年1月12日・13日
ボクシング競技：平成28年2月4日
トライアスロン競技：平成28年1月26日
【点検及び評価】
平成33年度に開催される三重とこわか国体の準備のため、先催県視察を実施した。
また、中央競技団体及び三重県による正規視察の受入を実施し、会場予定地の現地確認と施設概要・施設利用計画の説明を行った。
正規視察での指摘・要望事項が提示され、これを踏まえて国体準備を進めていきたい。
2 体育施設費
(1) 浜島ふるさと公園施設費 2,225,160 円
指定管理者 特定非営利活動法人 浜島スポーツクラブ
指定管理料 2,196,000円/年
指定管理期間 平成26年度～平成28年度（3か年）
利用状況 使用料：993,000円、団体数：345件、使用人数：4,708人
(2) 志摩総合スポーツ公園施設費 1,512,400 円
指定管理者 特定非営利活動法人 志摩スポーツクラブ
指定管理料 1,480,000円/年
指定管理期間 平成25年度～平成27年度（3か年）
利用状況 使用料：266,000円、団体数：525件、使用人数：8,866人
(3) 長沢野球場施設費 3,527,378 円
利用状況 使用料：400,000円、団体数：121件、使用人数：5,191人
(4) 阿児テニスコート施設費 1,354,876 円
利用状況
・テニスコート 使用料：99,000円、団体数：35件、使用人数：691人
・多目的広場 使用料：588,000円、団体数：235件、使用人数：5,944人
(5) 賢島スポーツガーデン施設費 2,252,400 円
指定管理者 株式会社 代々木高校
指定管理料 2,085,000円/年
指定管理期間 平成27年度～平成29年度（3か年）
利用状況 使用料：3,354,350円、団体数：1,207件、使用人数：9,292人
(6) 長沢運動公園グラウンド管理費 352,076 円
利用状況 使用料：494,500円、団体数：22件、使用人数：1,310人
※2月・3月サミット関係機関が使用
(7) 磯部ふれあい公園管理費 23,019,333 円
指定管理者 特定非営利活動法人 いそべスポーツクラブ
指定管理料 22,399,000円/年

生涯学習スポーツ課

施策の成果及び執行実績

指定管理期間 平成26年度～平成28年度（3か年）

利用状況

- ・ふれあい公園 使用料：1,710,350円、団体数：1,244件、使用人数：27,720人
- ・磯部プール 使用料：260,600円、団体数：7件、使用人数：2,120人

(8) 迫塩社会体育館施設費 607,133 円

利用状況 使用料：137,500円、団体数：307件、使用人数：3,779人

(9) 学校体育施設管理費 2,207,024 円

利用状況 (単位：円、件、人)

区分	学校夜間照明			学校体育館		
	使用料	団体数	使用人数	使用料	団体数	使用人数
浜島地区	-	-	-	98,500	305	3,351
大王地区	94,000	48	937	239,375	634	5,499
志摩地区	114,000	58	1,372	224,000	547	6,975
阿児地区	147,500	154	3,809	939,500	2,366	33,990
磯部地区	167,000	94	2,276	426,625	835	8,967
合計	522,500	354	8,394	1,928,000	4,687	58,782

(10) 大王柔剣道場管理運営費 951,321 円

利用状況 使団体数：198件、使用人数：1,527人

○ 主な施設修繕

工事名 大王柔剣道場軒庇等修繕工事

契約金額 691,200円

【点検及び評価】

各種体育施設の利用状況については、昨年度と比較し平均的に横ばい傾向である。また、指定管理者制度を導入している施設の利用状況については、安定的な施設運営となっている。

各スポーツ施設は、ほとんどの施設が建築後20年以上を経過し老朽化が著しいため、改修工事が必要となっているが、施設数が多く多額の改修費用が必要となるため、今後は利用状況に応じた施設の統廃合や指定管理者制度の導入等、弾力的な運用を検討する必要がある。

3 海洋センター施設費

(1) 浜島海洋センター施設費 26,929,280 円

指定管理者 特定非営利活動法人 浜島スポーツクラブ

指定管理料 26,858,000円／年

指定管理期間 平成26年度～平成28年度（3か年）

利用状況

- ・アリーナ等 使用料：516,250円、団体数：285件、使用人数：7,391人
- ・プール 使用料：669,050円、団体数：238件、使用人数：12,005人

施策の成果及び執行実績

(2) 志摩海洋センター施設費	・・・・・・・・	18,910,000 円
指 定 管 理 者	特定非営利活動法人 志摩スポーツクラブ	
指 定 管 理 料	18,775,000円／年	
指 定 管 理 期 間	平成25年度～平成27年度（3か年）	
利 用 状 況		
・アリーナ等	使用料：761,600円、団体数：729件、使用人数：14,277人	
・プール	使用料：155,900円、団体数：46件、使用人数：3,247人	

【点検及び評価】

各海洋センターの使用料については昨年度に比べて微増となっているが、利用状況については平均的にほぼ横ばい傾向となっている。

また、指定管理者制度を導入し、施設の運営管理がなされており、地域に密着した各種スポーツの取組み（教室・イベント等）が展開された。

海洋センターを含め各社会体育施設についても経年劣化や塩害等により老朽化が著しく、今後は計画的に利用状況を踏まえ施設の統廃合を検討するとともに、利用者にも配慮しながら施設の改修を進めていく必要がある。